

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第95回 「厳しくても愛情は伝わっている」

こころの相談員 前田 里美

小学校高学年から中学生にもなると思春期に差し掛かり、友だち関係を把握し難くなったり行動範囲も広がります。丁度その時期に携帯を持つようになって、メールやLINE・ネットでの問題にもさらされ、困っている保護者も多くいます。それらの危険から守る為にルールを話し合ったり、友だちや学校の話を知ろうとしても、それまでに何でも話せる親子関係になれば、急に話せるようにはなりません。また、話さないにしても、子どもの考えや興味を持っている物事に興味を持ってアンテナを高く・感度を良くしておく事が必要でしょう。（もちろん、子どもの性格で多くを話さない子は難しいですが…）

その為には小さい頃から、子どもの言いなりになるのではなく、親は自信を持って言い聞かせなければなりません。親子が仲良ししているのは悪い事ではありませんが、厳しい事・嫌な事を言っても仲良くいられるはず。学校でもきちんと叱ってくれる大人には子どもは信頼を寄せているのがよくわかります。もちろん、厳しくすればよいというわけではないので、そのさじ加減が難しいですね。きっとどの親も試行錯誤しながら迷いながら、子育てをして親になっていくのでしょう。

※前田相談員は、朝日小学校・中学校などで相談活動を行っています。

10月活動報告

10月8日(火) ひよこ教室 (キッズクラス)

新聞をやぶったり、丸めて飛ばしたり、たくさんの風船で遊んだり、身体いっぱい使って遊びました。みんないい顔で遊んでいました。

ひよこ教室 ベビークラス (0～8ヶ月) 12月10日 (火)
キッズクラス (9ヶ月～1歳6ヶ月未満) H26年2月18日 (火)
参加ご希望の方は、子育て健康課までご連絡ください。(TEL377-5652)

